2泊3日 大腸肛門外科 化学療法 (入院治療計画書)

ID: < <sy< th=""><th>PID>></th><th>ANJI〉〉</th><th>生年月日: <<oribp_birthday_w>> (<<oribp_< th=""><th>BIRTHDAY>>)</th><th></th></oribp_<></oribp_birthday_w></th></sy<>	PID>>	ANJI〉〉	生年月日: < <oribp_birthday_w>> (<<oribp_< th=""><th>BIRTHDAY>>)</th><th></th></oribp_<></oribp_birthday_w>	BIRTHDAY>>)		
入院科/病标	<u> </u>	ORDCT_S_A>> ®				
担当看護師	師:< <ordct_n_a>> 主治医以外の打 </ordct_n_a>	旦当者: <u>薬剤師</u> 		· 養士 	<u>作成日2016年5月26日</u>	
経過	化学療法 1日目		化学療法 2日目		退院日	
月日	月 日		月 日		月 日	
達成目標	①治療開始後の注意点が、理解できる		①症状を言葉に表現できる。	退院後の生活の注意点を理	退院後の生活の注意点を理解できる。	
治療・処置	・点滴は、ポートを埋め込んだ部位または腕の血管します。 ◆1本目に、吐気止めの点滴を行ってから、抗がんます。 ◆血液検査の結果で、治療の点滴を開始します。			・朝食前に体重を測ってくだ・午前10時で尿量の測定は	終了です。	
検査	・身長、体重測定があります。 ・血液検査があります。 ・点滴開始時より、尿量を測定します。尿のため方	を説明します。	◆抗がん剤の点滴をつなぎます。	・医師の診		
内服	・看護師が、持参薬を確認します。 ・普段服用しているお薬は、引き続きお飲みくださ	u.	・退院後、不足しそうなお薬は、早めにお知らい。	せくださ		
食事	・特に制限はありません。 (副作用に応じて栄養士が相談にお伺いします)		Molicielli	・退院時処方をお受け取りく ◆効能、服用方法について記 確認してください。		
看護	・検温を行います(入院時、午後2時、午後7時)。 ◆検温の時間は多少前後することがあります。				。 けることがあります。 退院後の注意点 外出後は、手洗い・うがいに心がけ	
リハビリ				次のような症状がある時は	疟陰へ連終し≠し⊦ ろ	
説明・指導	・医師の診察があります(時間は決まっていません)。 (薬剤師より薬についての説明があります) ◆点滴中、長時間の歩行は避けましょう。 ◆しびれのある方は、転倒に注意しましょう。 ◆抜れない程度に行動しましょう。 ◆抗がん剤の副作用として、肝障害、骨髄抑制(貧血、血小板減少、白血球減少等)、発熱、消化器症状(食欲不振、下痢、胃炎等)などがあります。症状がある場合はすぐにお知らせください。 ◆骨髄抑制による白血球減少では、発熱する場合があります。これは、感染症を意味し抗生剤が必要になりますので、すぐにお知らせください。 ◆抗がん剤は、漏れると組織が壊死することがあります。針の入っている部位に、痛みや腫れを感じたり、テープがはがれた場合は、すぐにお知らせ下さい。		◆吐き気がある場合は、口当たりの良いものを少量つつ、また 水分を多めにとってください。 ・わからないことがあれば、お聞きください。 →38度以上の熱が →水分や食事がと 目安:1日に500mが取れない ◆1日に5回以上のる。 連絡先 福島県立			
★ 特別な栄養管理の必要性 有 · 無 _{高齢者総合評価の実施}			· 5	上記の説明を受け、治療内容を理解しました。		
基本的 主1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、 総合的な 日常生 今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。 認知機		的生活動作 □ 問題なし □ 要精査または要経過観察 生活動作 □ 問題なし □ 要精査または要経過観察	< <dytoday>> 説明者: 説明を受けた人:</dytoday>	続柄		
こか明な点は過	袁慮なくスタッフへお尋ねください。				, ,	

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院 パス承認番号(No.7)承認年月日(2016年6月9日)